



環境会計

WEB

このページは、ホームページのみに掲載している情報です。

2015年度の環境会計

国内矢崎グループの2015年度の環境保全コストは、投資額が629.8百万円、費用が5,368.6百万円となりました。投資額は省エネルギー効果の高い空調機器や社有車への更新が進み、前年度比16.3%増となりました。費用は、研究開発費において一部部署でテーマ数の減少や業務委託費の削減となった結果、前年度比16.2%減となりました。経済効果は、廃棄物の再資源化の推進により、346.3百万円となりました。

環境保全効果において、事業活動に投入したエネルギー投入量は改善されたものの、水資源投入量は増加しました。また、電気事業連合会発表の電気におけるCO₂排出係数の増加に伴い、事業活動から排出されたCO₂排出量は増加となりました。

● 環境会計導入の目的

ステークホルダーへの説明責任を果たす

● 集計期間

2015年6月21日～2016年6月20日

● 基本事項

・集計範囲：国内矢崎グループ（矢崎総業、矢崎部品、矢崎計器および矢崎 ES）。ただし、環境保全効果は国内関連子会社を含む。

・参考：環境省環境会計ガイドライン 2005

・算定基準：

① 環境保全以外の目的のコストと複合的に発生している場合は、按分して計算しています。

② 投資額は減価償却資産の当期取得額です。また、環境会計上、環境設備に関する減価償却費を定額法により算出し、費用に含んでいます。

・経済効果には測定可能な効果を計上し、推定に基づくみなし効果は含んでいません。

環境保全コストおよび経済効果

(百万円)

項目			投資額	費用	経済効果
事業エリア内			499.5	359.3	346.6
内訳	公害防止コスト	大気汚染防止、水質汚濁防止など	48.3	87.4	2.0
	地球環境保全コスト	地球温暖化防止、省エネルギーなど	451.2	45.1	21.3
	資源循環コスト	廃棄物の処理など	0.0	226.8	323.0
上下流コスト			0.0	581.3	0.0
管理活動コスト			4.8	641.8	0.0
研究開発コスト			125.5	3,764.6	0.0
社会活動コスト			0.0	11.7	0.0
環境損傷対応コスト			0.0	0.0	0.0
その他			0.0	9.9	0.0
合計			629.8	5,368.6	346.3
(参考：2014年度の合計値)			(541.6)	(6,403.9)	(332.3)

環境保全効果

項目			単位	2014年	2015年	環境保全効果 (2015年-2014年)
事業所環境負荷量	Input	総エネルギー投入量	GJ	2,464,117	2,399,769	▲ 64,348
		水資源投入量	万m ³	563.9	567.6	3.7
	Output	CO ₂ 排出量	万トン-CO ₂	15.6	17.3	1.7
		廃棄物量	千トン	4.0	4.1	0.1